

東日本大震災に関わる高津区対策本部の活動状況について

1 高津区内の被害状況

- ・ 人的被害 重症 1、軽傷 2
- ・ 公共建物 一部破損 7
- ・ その他 道路 2、水道 3、停電 39,963 戸、ブロック塀 1、その他 6

2 区災害対策本部の設置、本部会議の開催等

- ・ 発災 2011 年 3 月 11 日（金） 14 時 46 分 高津区内震度 4
- ・ 区災害対策本部設置 2011 年 3 月 11 日（金） 15 時 2 分設置、4 月 6 日 東日本大震災対策本部の設置に伴い廃止
- ・ 本部会議の開催 3 月 11 日以降 12 回開催
- ・ 区本部連絡員体制 発災当日から 4 月 6 日まで 24 時間体制を継続的に確保

3 発災当日の初動対応等について

・ 避難所開設

停電エリアへの対応として橘小学校に 21 時に開設。3 人が避難。通電再開により 22 時 15 分に閉鎖。橘中学校備蓄倉庫から必要物資を運びだし対応した。

・ 帰宅困難者対策

第 3 回本部会議（11 日 19 時半）で、本部長から帰宅困難者支援のための避難所開設を指示。当初区内 2 か所（高津スポーツセンター、久本小学校）で開設、その後 1 か所追加開設。

[各避難所の状況]

高津スポーツセンター・・・21 時に開設、翌日 7 時半閉鎖、最大避難者数 72 名。

区役所職員 12 名で開設準備、運営、撤収作業を担当。

久本小学校・・・20 時半開設、翌日 8 時 50 分閉鎖、最大避難者数 240 名。

区役所職員 19 名で開設準備、運営、撤収作業を担当。

高津中学校・・・久本小学校が満員状態になり、23 時 10 分に追加開設、翌日 8 時 50 分閉鎖、最大避難者数 28 名。

高津区内で全 4 避難所合計 最大避難者数 343 名

- ・ このほか、主要道路、区役所前など区内 10 か所において職員 34 名のローテーションによる道案内と避難所への誘導を実施。
- ・ 被害状況の把握
区役所庁舎内の安全確保、被害状況の確認、区内関連施設などの児童園児などの居残り状況の確認、区内主要施設の被害状況の把握と対応策の検討 等
- ・ 一人暮らし等高齢者見守り対象者の安否確認
区職員及び地域包括支援センターにより、登録者 43 人中 43 人の無事を確認（12 日 9 時 15 分現在）

4 計画停電への対応

- ・ 区内計画停電の状況

上作延・向ヶ丘地区（区内一部地域 第5グループ）において、計画停電が実施された。

- ・ 広報活動等

広報車による広報活動を実施したほか、電話による問合せについて総務課を中心に全庁で対応。

- ・ その他

庁舎エレベーターの休止等節電対応を実施するとともに、非常用電源の稼働確認、各種行事会議の開催可否の検討、延期・中止の判断、それに伴う広報活動を行った。

5 被災地支援

- ・ 職員派遣

厚生労働省健康局総務課からの派遣要請に伴い、川崎市として医師、保健師の派遣を実施。高津区は以下の通り派遣を実施。

3月30日～4月2日	福島県二本松市	保健師1名
4月14日～4月18日	福島県二本松市	医師1名
4月22日～4月26日	福島県会津若松市	保健師1名
4月26日～4月30日	福島県会津若松市	保健師2名
4月30日～5月4日	福島県会津若松市	社会福祉職1名

- ・ 義援金について

日赤神奈川県支部からの依頼に基づき、3月14日（月）から9月30日（金）までの間、1階総合案内と3階地域保健福祉課前の2か所に義援金箱を設置。（4月13日現在の義援金額 3,222,725 円）

- ・ 一時避難場所における支援活動

川崎市の被災者受け入れ場所である「とどろきアリーナ」において、輪番制で区職員が支援活動に従事中。

避難者数は4月18日（月）現在 39 世帯 106 名。100 名前後で推移。

- ・ 避難者相談窓口の設置

4月11日（月）から総務課に避難者相談窓口を設置。4月19日（火）現在の相談件数は 8 世帯 13 人。